

# ワンネット通信

2022年1月29日(土)

認定NPO法人  
ワンストップリーガルネット



第98号

発行責任者 大内田 治男

電話 080-3962-7126

F A X 0942-31-5336

E-mail

onenet@onestop-legalnet.org

## 年頭所感

理事長 大内田治男

新年明けましておめでとうございます。

昨年はコロナに翻弄され、暮らしの無料相談会をはじめ、研修会、セミナー等が十分に開催できず、関係者にご迷惑おかけしまして申し訳ございませんでした。

また、ワンネットを支えていただいた事務局他関係者には、市当局、市民活動サポートセンター、相談者等との絶えざる連絡に今まで以上にご負担をお掛けしました。

さて、今年は寅年です。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の喩の話です。

米軍のアフガニスタン撤退に呼応して、タリバン政権が樹立されました。日本政府は、日本人と日本大使館の現地職員救出のため、自衛隊機を派遣しましたが、現地職員を積み残しました。タリバンは旧政府公務員、学者、ジャーナリスト、国外に滞在した人をリストアップし、処刑しようとしています。

アフガニスタン日本大使館の公使当時のM氏の通訳を務め、大統領府勤務後、保健省、防衛省の政府高官NA氏の一家9人の救出劇です。

NA家族はパキスタンのイスラマバードに脱出し、在留資格認定証明書待ちの状況です。このために外務省等政府機関、笹川平和財団、中小企業家同友会函館支部他の函館の皆様他民間の有志の多大なる援助をうけています。

私どもも入管業務の書類作成の業務で参画する栄を浴しています。

今後も続けて行くと思われまます。

今年の初夢です。

### ■令和4年1月の「暮らしの無料相談会」報告

開催日 令和4年1月12日(水)

場所 市民活動サポートセンターみんくる

受付担当 田中会員、田端会員、仲家会員

参加相談員 福嶋公証人と19人のワンネット会員(有馬、大内田、亀井、藏守、塩澄、  
杉野琢、杉野直、田中、田端、寺田、豊福、仲家、橋口、平木、平野、松枝、  
森、森山、渡辺)

相談件数 7件、相談者 7名、継続案件 1件

相談内容 遺言相続 1件、離婚 1件、税 2件、交通事故 1件、債権債務 1件、  
契約 1件

2月度「暮らしの無料相談会」開催予定日 2月9日(水)

受付担当 橋口会員、栞島会員

#### ■令和4年1月の「公証業務相談」報告

1月19日(水)午後1時より久留米公証役場の西江昭博公証人と豊福会員が久留米市役所6階にて公証業務相談を行いました。相談件数は3件でした。

相談内容の内訳は、遺言相談2件、公正証書作成時の注意事項確認についてが1件でした。

次回の「公証業務相談」開催予定日 2月21日(月)

担当 橋口会員

#### ■今後の暮らしの無料相談会の受付担当をお知らせします。よろしくお願ひします

相談会日	受付担当	相談会日	受付担当
2022. 2. 9	橋口・栞島	2022. 5. 11	平木・古賀隆
2022. 3. 9	佐藤・宮川	2022. 6. 8	古賀信・平野
2022. 4. 13	藏守・船津	2022. 7. 13	大内田・森山

#### ■今後の公証業務相談の担当をお知らせします。よろしくお願ひします

相談日	担当	相談日	担当
2022. 2. 21 (月曜です)	橋口	2022. 3. 16 (水曜)	平木

## ■ 第17回 在住外国人によるパネルディスカッション開催のご報告



NPO法人ワンストップリーガルネット主催、「第17回 在住外国人によるパネルディスカッション」が、1月22日(土)午後2時から えるピア久留米 視聴覚ホールで開催されました。総務省 九州管区行政評価局 総務行政相談部 行政相談課長 右田哲夫様、独立行政法人 国際協力機(JICA) 九州センター 福岡県国際協力推進員 鬼丸武士様並びに福岡県行政書士会 会長 田村公隆様という3名の来賓を迎え、今回は「知らなきゃソンだよ！日本での老後」というテーマをもとに、第1部は20年以上日本に在留する3名の外国人パネラーによるパネルディスカッション、第2部は元留学生の質問動画による質疑応答の構成で途中にコロナ対策のための換気を挟み、活発な意見交換が行われました。

第1部では、日本と各パネラーの本国であるパキスタン、カナダ及びフィリピンの社会保障制度(年金、健康保険)や相続について意見交換が行われました。



第2部では、フランス人元留学生から、日本で働いているが将来本国に帰るかもしれない。その場合に今払っている年金は受け取ることが出来ますか？という質問がありました。これに対し、大内田理事長が社会保障労務士としてフランスとの社会保障協定について回答されました。



アンケートの集計結果については別紙をご参照下さい。最後に、本イベントへの後援並びにご協力をいただいた会員及び関係者様に心よりお礼申し上げます。

■次回ワンネット通信 第99号は2022年2月26日(土)発行予定です。

## 第17回 在住外国人によるパネルディスカッション

### 「知らなきヤソンだよ！日本での老後」

#### アンケート集計結果

参加総数 42名 (含パネリスト、来賓、解答者、司会、コーディネーター13名)

有効アンケート 15件

1. 今日の企画のご感想をお聞かせください。
  - ①よ かった 15
  - ②普 通 0
  - ③よくなかった 0
  - ④そ の ほ か 0
2. この催しを継続したほうがよいと思いますか。
  - ①継 続 し て ほ し い 15
  - ②内容を変えて実施して欲しい 0
  - ③継 続 の 必 要 は な い 0
3. この催しをどのようなメディアで知りましたか。
  - ①知人または人伝え 14
  - ②新 聞 0
  - ③チ ラ シ 2
  - ④そ の 他 1 (会員)
4. その他、自由にご意見を記入してください。
  - ・ 大変勉強になる内容でした。有難うございました。
  - ・ オンライン開催も良いと思います。
  - ・ オンラインで年に何度か開催してはいかがでしょうか？オンラインなら主催者の負担も減ります。参加者も楽です。
  - ・ クエスチョンタイムが多い時間が有ったので、多くの意見が出良かった。
  - ・ 会場に多くの方が来て頂くように努力して下さい。皆さんの意見を聞いて実行して下さい。
  - ・ すばらしい企画であり、もう 17 回を数える在住外国人が抱える問題をディスカッションする場なのに、参加者が少ないのが本当に残念。もっと市民参加させる方策を別のプ

口に任せて盛大にさせてほしいと思います。

- 外国人が増える（傾向として）のは止まらない。彼らが安心して定住できる仕組みの充実が必要。行政（久留米市）が受入の支援体制を整える事が急務である。
- 市民がもっと関心を持つ事が必要である。講演会などで知らせることが必要。
- 第1部のパネルディスカッション、第2部の元留学生のインタビュー(&先生方の回答)という構成がよかった。テーマもこれまでに取り上げられていなかった老後や年金についてもよかったと思う。
- 私は、立命館アジア太平洋大学という留学生が多い大学に通っていました。私の友人も日本で就職している方が多く、久留米も留学生が増えてきているように感じます。今後、在住外国人の悩みを解決するため、このような催しを継続して頂きたいと思いました。

令和4年1月22日